

注目集まる中国の企業大学

中国の企業大学が注目されている。企業大学は、名前の通り企業が出資し、一般的に企業の上級管理職や第一級のビジネススクールの教授などが教師となって、実践的なシミュレーション、ケーススタディ、インタラクティブな教授法によって、企業の中堅・上級管理人材などの育成を目的とした教育組織である。企業大学は生涯学習のニーズを満たす新しいタイプの教育訓練システムであり、中国には海爾大学等の多くの企業大学が設立されている。

1993年、モトローラ・チャイナ・ユニバーシティが設立され、ここから中国は企業大学の初期段階に入った。これ以降、ますます多くの企業、特に大企業が企業大学の重要性を認識し、独自の企業大学の建設を始めた。企業大学の建設は、これまでにない傾向を示している。国家电网やホンハイテクノロジー、中国工商銀行、中国移动、中国人寿、中国南方电网、中国シノケムグループ、宝鋼グループなどが独自の企業大学を設立した。2011年末時点で、中国には400以上の企業大学が存在した。内訳は、外国企業が設立した80校、中国企業が設立した320校。現在では、中国国内には1000を超える企業大学があるといわれている。

高等教育制度だけでは企業のさまざまな知識やスキルのニーズを満たすことができない。しかし、企業が必要とする適切な才能を育成することは困難であり、独自の学習組織を所有することに対する期待が高まっている。具体的には、企業大学には以下のような特徴がある。

①企業性：企業大学は、企業の事業に役立たなくてはならないということから、経営、講座、講師、学生などの企業カラーが明確である。

②戦略性：企業大学は、企業の戦略発展をサポートするものであり、企業の発展戦略に従って運営すると同時に、企業の発展戦略の実施を促進する役割も果たしている。

③統合性：統合は主にリソースの統合を指す。つまり、企業内外のあらゆる種類の学習とトレーニングリソースが企業大学に集中し、大学のリソースが十分に機能することが保証される。

④自律性：企業大学は、他の部門と比較して自律性が高く、企業の1つのプロジェクトに似ている。また、独立して運営でき、コースを独自に開発し、研修講師を雇用し、新しい研修プログラムを開発することができる。

⑤適切性：企業大学は特定の企業向けであるため、目標がはっきりしている。

経済のグローバル化が進む中で、企業文化の競争力の向上が特に重要となる。企業大学は、成熟した多国籍企業における企業文化の競争力の創造のための優れた基盤となっている。その重要な役割は次の通りある。

①企業大学は、多国籍企業が多国間業務の過程で異文化間管理を実施するための効果的なツールとなる。多国籍企業の不可欠な部分として、企業大学は、異文化経営の要素であり、効果的に競争力を強化することにつながる。

②企業大学は、社内コミュニケーションのための効果的なプラットフォームとなる。企業大学は、従業員に意欲的な組織文化を伝えるため、社員に向けて学校の雰囲気を作り出している。同時に、企業大学での訓練は、トップマネジメントと一般従業員に焦点を当てることができるため、双方が完全なコミュニケーションを通じて、企業内で調和のとれた雰囲気を確立し、相互協力を強化することができる。企業大学の研修内容には、スキルだけでなく、企業文化の伝播も含まれる。

③企業大学は、多国籍企業が人材を確保することに貢献する。優秀な企業大学は、企業の発展と従業員の成長を結びつけ、「タイムリーかつ正確な知識」学習プログラムを提供し、あらゆるレベルの従業員に対して異なるレベルのトレーニングを設計することができ、人材の確保に資する。

④企業大学は、多国籍企業とビジネスパートナーの架け橋である。多国籍企業に開放されている企業大学は、サプライヤーが自分の仕事を行うために必要なスキル、知識、能力を持つことを支援することができる。品質、信頼性、サイクルタイム、顧客サービスなどの基本スキルを習得すれば、多国籍企業のスムーズな購入をローカルで確実に行うことを保障できる。企業大学は、多国籍企業やサプライヤーがパートナーになることを支援し、企業が全体的な競争力を高め、サプライヤー、顧客、代理店、卸売業者の間のパートナーシップ構築を促進する。

⑤企業大学は、多国籍企業のマーケティングローカリゼーションのソリューションを提供することが出来る。多国籍企業の人材育成の拠点として、企業大学は、多国籍企業のマーケティングに適切な人材を提供することが義務付けられており、多国籍企業の成功の鍵を握る。

中国の企業大学は、主に人材の育成、企業のモデルチェンジと文化改革の促進及び企業の技術力アップのニーズを満たすことを目的としていると言える。

実際の状況からみると、中国国内の企業大学は、戦略的立場、組織運営体制、ビジネスシステム、支援体制の確立など、すでに国際的な企業大学に伍するまでになってきた。経営基盤が強く、知識の蓄積が豊富な企業、長期的な企業研修の経験を有する企業、明確な目標、十分な準備及び明確な発展意識を持った企業が設立した企業大学は、優れた機能を発揮している。現在、国内の企業大学の中で、評価の比較的高いのは、海爾大学、TCL リーダーシップ開発学院等である。

一方、先進国と比較的、中国の一部の企業大学はハードウェアの構築を重視しているが、ソフトウェアの構築を無視している。そのため、企業大学のハードウェア環境はよいが、カリキュラムシステム、情報システム、講師の質への投資が多くないのは現状である。このような状況は企業大学の実質的な発展を制約しており、実際に企業の戦略的変革にあるべき役割を果たすことはできていないと見られている。(曹 雪飛)

2017年中国のTOP企業大学ランキング

2017年中国の企業大学トレンドリード賞リスト	
1	海爾大学
2	紅星美凱龍管理学院
3	マクドナルド中国ハンバーガー大学
4	中国兵器人材学院
5	中興通訊学院
2017年中国最優企業大学	
1	中国移动学院
2	新希望六和商学院
3	中航大学
4	中国南方電網公司幹部学院
5	広州医薬有限公司沙槐学院
6	神華管理薬員
7	網龍大学
8	修正大学
9	国家電力投資集团公司人材学院
10	老板大学
11	新世界百貨管理薬員
12	山西省儿童医院山西省婦幼児保健院成長学院
13	特变電工股份有限公司人材育成学院
14	光明乳業学院
15	浦銀大学
16	金螳螂商学院
17	九州通大学
18	遠東大学
19	広東華興銀行股份有限公司華興商学院
20	中国電信江蘇天翼インターネット学院

出典：人民網 2017年12月7日 <http://sh.people.com.cn/n2/2017/1207/c176739-31007314.html>